

【用語集】

● 年超過確率

1 年間にその規模を超える降雨が発生する確率のこと。例えば、年超過確率 1/5 の降雨が 50mm/hr の場合、1 年間に 50mm/hr を超える降雨が発生する確率が 1/5（20%）ということ。

● 内水氾濫

降雨によって、排水路や下水道等の排水能力を越えた場合や、合流先の河川が水位上昇し、雨水を排出できなくなった場合、宅地や道路、農地などに水が溢れること。

● 外水氾濫

降雨によって、川の水が堤防から溢れた場合や、堤防が決壊した場合、宅地や道路、農地などに川の水が溢れること。

● 河川整備計画

河川法に基づき、河川整備基本方針に沿った当面（概ね 20～30 年）の河川整備の具体的な内容を定めた計画のこと。

● 雨水管理総合計画

短期・中期・長期にわたり、下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標、整備内容等を定めた計画のこと。

● 流域治水

河川や下水道等の流下施設だけの対策でなく、流域に水を溜める・しみこませる対策を流域に関わるあらゆる関係者が協力して水災害に備えた対策を行う考え方のこと。

● ハード対策

河川や下水道、雨水貯留施設などの施設整備により、水害を軽減する取組のこと。

● ソフト対策

防災訓練や避難情報の提供などにより、水害を軽減する取組のこと。

- スtockマネジメント

既存の施設を長期的に活用できるよう、点検、調査などにより施設の状況を把握・評価し、計画的かつ効率的に管理すること。

- 既存stock

既に整備され、現在も存在している建物や施設のこと。

- L2 浸水想定区域

想定最大規模（概ね 1000 年に 1 回程度）の降雨で浸水する想定範囲のこと。

- 可搬式ポンプ

持ち運びや移動ができ、浸水が発生した際に河川等へ強制的に排水するための小型・軽量の排水ポンプのこと。

- 雨水貯留浸透施設

雨水を直接、下水道等の排水施設に流さず、一時的に貯留・浸透させることで下水道や河川の負担を軽減させる施設のこと。

- グリーンインフラ

自然の多様な機能（CO₂ 吸収等）を活用した施設のこと、将来にわたり持続可能で魅力ある地域づくりに貢献するもの。

- 水害マイタイムライン

水害時における住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）のこと。水害時に自分自身がとるべき行動を時系列で整理し、迅速な避難行動のための一助となるもの。